

国府高校と岡田建設が合同



学校周辺で 美化活動

豊川市の県立国府高校は3日、地元企業の岡田建設（岡田社長）と合同で学校周辺美化ボランティアを行った。運動部を中心に約400人の生徒と同社の社員約30人、国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所の名古屋古屋国道事務所の職員が参加した。

岡田建設と合同で国道1号沿いの美化に取り組み生徒ら（豊川市白鳥町付近で）

生徒会による開会式で岡田建設の岡田司社長は、道路環境の維持管理を行っている会社であることを話した上で、「皆さん

と協力して地域の美化に取り組みたい」と述べ「今回の活動が公共インフラについて考えるきっかけになれば」と期待した。

国道1号、23号などのメンテナンス管理を行っている名古屋国道事務所の菅沼真澄所長は「道路は365日すべての人

に安全に使っていただかなくていけない。そのためにも清掃活動は重要」と述べ「力を合わせて取り組みましょう」と呼びかけた。

その後、生徒たちは学内外に分かれて美化活動を行った。

国道1号沿いでは、岡田建設の社員が雑草を刈り、生徒らがゴミ拾いをしながら刈り取られた雑草を回収した。

国府高校の学校周辺美化ボランティアは、生徒会活動の一環として10年以上続いており、今回は岡田建設の申し出を受けて合同で行った。

（吉富恵子）